

称名寺新能

二〇一九年 五月三日(祝・金)
午後五時半開演(午後四時半開場)

御挨拶

連吟 放下僧 子供セミナー受講生
連吟 六浦 六浦セミナー受講生
火入式

仕舞 高砂

仕舞 羽衣

狂言 佐渡狐

シテ/佐渡の百姓 野村萬斎
アド/越後の百姓 野村太一郎
アド/奏者 石田幸雄

能 竹生島

シテ/老翁後に竜神 櫻間右陣
ツレ/女後に弁財天 阪本昂平
ワキ/大臣 森 常好
間/天女奉仕の能力 野村裕基

笛 藤田次郎
小鼓 古賀裕己
大鼓 亀井廣忠
太鼓 金春國直

称名寺浄土式の美しい庭園と
橋を背景に能のひとときを・・・

称名寺境内ライトアップ 4月27日～5月6日

あらすじ

狂言 佐渡狐 (さどぎつね)



主演 野村萬斎

越後と佐渡の百姓が、年貢を納めに上京する道中で道連れになる。越後の百姓に佐渡には狐が居るかと問われた佐渡の百姓は、居ないのに居ると答えて言い争いになり、...

狐を知らない佐渡の百姓が

あの手この手で

まごつきながらも言い張る

愉快な狂言

能 竹生島 (ちくぶしま)

主演 櫻間右陣



竹生島参詣の朝臣は、琵琶湖畔に着くと、漁翁が若い女を乗せている舟を見つめ、同乗させてもらう。朝臣がこの島は女人禁制と聞いていと問うと、弁財天は女体の神なのだから不思議はないと言って島の由来を、実は人間ではないと言いつつ、女物語つたのち、翁は波間へと消える。は社壇の中へ、翁は波間へと消える。やがて社殿が鳴動して弁財天が姿を現して舞楽を奏する内に、湖から龍神が現われ、光り輝く金銀珠玉を朝臣に捧げ、国土の安全を守ると告げて再び湖水へ去って行く。

湖水と緑も爽やかに
平和を願う
神話を描く能

能「竹生島」と狂言「佐渡狐」のたのしみかた

平成三十一年 四月二十日(土)

午後一時半～三時

講師 貫井裕恵(金沢文庫 学芸員)

会場 神奈川県立金沢文庫

定員 一〇〇名(応募多数の場合は抽選)

参加費 無料

(ただし、当日観覧券が必要です。今回の新能チケットをお持ちの方ならびに金沢区民の方は団体料金が適用されます。)

【お申し込み先】

神奈川県立金沢文庫

〒二二六・〇〇一五

横浜市金沢区金沢町一四二

TEL 〇四五(七〇二) 九〇六九

FAX 〇四五(七八八) 一〇六〇

【お申し込み方法】

金沢文庫HP「講座申込フォーム」か

往復はがきに「新能協力講座希望」

住所・氏名・電話番号を明記の上、

県立金沢文庫まで。

(四月七日(日)必着でお申し込み下さい。お一人一枚まで)



主催/ふみくらの仲間たち「称名寺新能」実行委員会 共催/金沢区役所
協賛/(株)ミツハシ 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 医療法人社団景翠会 金沢病院 横浜金沢観光協会
協力/称名寺 金沢町町内会 称名寺境内愛護会 県立金沢文庫 金沢消防団第4分団 金沢区木遣囃子連絡協議会 金沢区商店街連合会
体操フェスティバルヨコハマ 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場 読売センター金沢八景
後援/tvk J-COM 南横浜 Fm yokohama 84.7 読売新聞横浜支局 NPO法人横浜金沢文化協会
特別協力/櫻間會

お問い合わせ... ふみくらの仲間たち「称名寺新能」実行委員会 080(5186)4407/080(5190)9559